

<大平地域>

■ 大中寺の七不思議

⑦ 東山の一口拍子木



寺の東の山で拍子木の音が一回だけ聞こえることがあり、それが聞こえると必ず寺に異変が起こると伝えられている。ただし、その音は住職だけにしか聞こえないという。これは現象が対象であるため、看板を立ててそのむねを説明している。

一説には、この異変は、かくまってくれなかった事に対する佐竹小太郎の恨みのしわざだともいわれる。